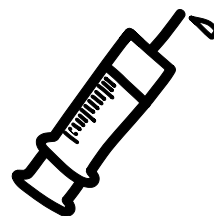


日本脳炎



病気について

日本脳炎ウイルスの感染でおこります。人から直接ではなく、ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。

症状 7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐（おうと）、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。

合併症 感染者のうち100～1,000人に1人が脳炎を発症します。脳炎のほかに髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もいます。脳炎にかかった時の死亡率は約20～40%ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。

流行は西日本が中心になりますが、ウイルスは北海道などの一部を除く日本全体に分布しています。この地域で飼育されているブタにおける日本脳炎の流行は毎年6月～10月まで続きますが、この間に地域によっては80%以上のブタが感染しています。

予防接種について

対象：1期初回・追加 3歳から90か月（7歳6か月）未満

※流行地へ渡航等の理由で、保護者が希望される場合は生後6か月から接種することができます。長浜市健康推進課までご相談下さい。

2期 9歳から13歳未満

料金 予防接種にかかる費用は無料です（ただし年齢が対象外の方は実費です）

日本脳炎	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	
	(第1期)	[接種対象期間]					(第2期)	[接種対象期間]				
		[接種推奨時期]					[接種推奨時期]					

[点線パターン] 接種対象期間

[黒点パターン] 接種推奨時期

〈標準的な接種方法〉

●1期 3歳から90か月（7歳6か月）未満

初回接種 6～28日の間隔で2回接種（接種間隔を必ず守ってください。）

※接種間隔が28日を超えた場合は、任意接種となります。接種費用は公費負担となりますが、「予防接種法に基づく接種」とは異なるため、そのことを同意の上、接種を受けて下さい。（同意書は各実施医療機関にあります。）

追加接種 1期初回2回目接種終了後、約1年後に1回接種

●2期 9歳以上13歳未満 1回接種

●が接種日
[点線パターン]の期間に
2回目を接種

【6～28日の間隔とは？】

月	火	水	木	金	土	日
●	1	2	3	4	5	6
[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]
[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]
[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]
[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]
[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]	[点線パターン]

月曜日に接種した場合
翌週の（月）～4週間
後の（月）までとなる。

ワクチン接種についての注意

- 平成17年の日本脳炎の積極的な勧奨の差し控えにより、日本脳炎の予防接種の機会を逃した方々の接種機会が緩和されました。（→対象者については裏面をご覧ください。）
- 1か月以内に麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜ及びその他ウイルス性疾患（突発性湿疹、手足口病、伝染性紅斑等）に感染又は、感染者と接触があったお子さんの接種時期については、かかりつけ医と相談してください。

☆お子さんの生年月日により接種方法が異なります。ご確認ください。☆

OH7.4.2～H19.4.1 生まれの方〇

満4歳～20歳未満 1期初回：6日から28日までの間隔をおいて2回接種
1期追加：1期初回2回目終了後、約1年後に1回接種

満9歳～20歳未満 2期：1回接種

*2期については必ず9歳をこえてから接種します。

*H7.6.1～H19.4.1生まれの方は、20歳未満までに未接種分を接種することができるようになりました。

*平成17年の日本脳炎の積極的な勧奨の差し控えにより、ワクチン接種が途中で中断され長期間経過していても、接種不足分を続きから接種していただくこととなります。日本脳炎予防接種は1期と2期合わせて4回の接種が必要です。接種間隔については、医療機関または健康推進課にご相談ください。

重要 H7.4.2～H7.5.31 生まれの方△

予防接種の特例として国が定めた対象年齢は、H7.6.1～H19.4.1生まれのお子さんであり、H7.4.2～H7.5.31生まれのお子さんは法律で定められた定期の予防接種の対象年齢ではないため、任意での接種となります。しかし、日本脳炎の積極的な勧奨の差し控えがあった6年前は、日本脳炎予防接種第2期の接種を学校で集団接種としていたことから、市ではH7.4.2～H7.5.31生まれのお子さんにも全額公費負担で予防接種をうけていただけるようにしました。(ただし、接種期間はH24.3.31までとします。)

OH19.4.2～H21.10.1 生まれの方〇

満3歳～7歳半未満

1期初回：6日から28日までの間隔をおいて2回接種

1期追加：1期初回2回目終了後、約1年後に1回接種

満9歳～13歳未満 2期：1回接種

*1期の接種が全て終了せずに7歳半を超えてしまった場合は、2期の年齢(9歳～13歳未満)に1期の接種不足分を接種することができます。

OH21.10.2以降に生まれた方〇

3歳のお誕生日を迎えてから7歳半までに日本脳炎の予防接種を受けることができます。標準的な接種方法で接種します。

*流行地に渡航等の理由で、保護者が希望される場合は生後6か月から接種することができます。健康推進課までお問い合わせください。

予防接種を受けた後の注意

- (1) 接種後約30分は医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- (2) 接種後1週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- (4) 接種当日は、はげしい運動はさけましょう。
- (5) 接種後6日間は、他の予防接種は受けられません。



*予防接種により高熱その他心配なことが生じた場合には、すぐに医師の診察を受け長浜市健康推進課へご連絡ください。

予防接種の副反応について

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンは、国内で Vero 細胞(※1)を用いて製造される初めての医薬品であり、海外では他の細胞培養ワクチンにおいて急性散在性脳脊髄炎(ADEM)が報告されていることから、日本脳炎ワクチンの使用にあたっては、重篤な副反応に関するデータの収集及び評価を行うこととされており、今後も十分注意が必要であると考えられています。(※1)Vero細胞・・・アフリカミドリザル腎臓由来株化細胞

平成21年6月2日から乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの接種が開始され、生後6月以上90月未満の小児123例中49例(39.8%)に副反応が認められました。その主なものは、発熱(18.7%)、咳(11.4%)、鼻水(9.8%)、注射部位紅斑(8.9%)です。これらの副反応のほとんどは接種3日後までにみられたとされています。

なお、まれにあらわれることがある副反応としてショック、アナフィラキシー様症状、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、脳炎、けいれん、急性血小板減少性紫斑病などが考えられます。これらの重大な副反応の発生も否定できません。

〈お問い合わせ〉長浜市健康推進課 TEL 65-7779